

セ ボ ス



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

セ
タ
ガ
ヤ

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2018.8 No.172

今月のトピック

特集●

ひろがれ 子どもの『こころの居場所』

まちの市民力！ ● ケアラースカフェK | MAMA

キラリ世田谷人 ● 沖田 隆子さん

ボランティア
ネットワーク



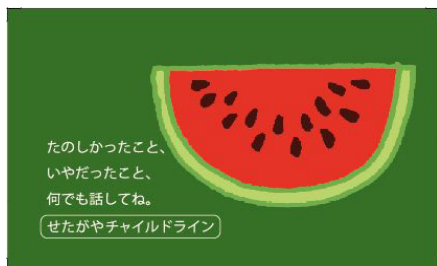
イラストレーション ● 畑野憲一

アートディレクター・イラストレーター
キャラクターデザインや広告制作を行っています。
絵本「キャンディをひとつ」(文・マユミーヌ)では色鉛筆画を描いています。

● わたしの世田谷

世田谷区の農家さんの野菜をいただきました。夏の太陽を浴びて元気に育った野菜たちがたくさん。とても美味しくて安心なのです。世田谷は都会の中に土の香りもする素敵な場所です。

びろがれ 子どもの「こころの居場所」



今夏、子どもたちに配ったカード

せたがやチャイルドラインは、18才までの子どもたちのための電話です。はじめの問題に対して、地域の大人たちが「自分たちにできることは何だろうか？」と考え、イギリスのチャイルドラインに学んで、1998年に立ち上げました。夏休み明けの子どもたちが特に悩みを抱えやすいという問題にもいち早く注目し、2012年から夏のキャンペーンを始め、毎年実施しています。

いま、私たちにできることは何でしょうか。せたがやチャイルドライン運営委員長の田野浩美さんに寄稿していただきました。

話を聴いてくれる人の存在

せたがやチャイルドラインが子どもからの電話を受け始めて、20年が経ちました。約2年にわたる研修を受けた「受け手」というボランティアが電話を受けています。悩み事も、うれしかったことも、何でも話せる電話です。これまで6万件以上の電話を受け、たくさん子どもと話をしてきました。

その中で感じてきたことは、「話を聴いてくれる人がいれば子どもは話せる」ということです。子どもは自分のことを話すことで、自分の考えや気持ちを整理することができます。それまで言葉にできなかったことを、言葉に変えて話すことで自分の思いを理解します。そのために「話を聴く人」が必要になります。

電話をかけてきた子どもに「どうしたらいいか教えてください」と言われることもあります。チャ

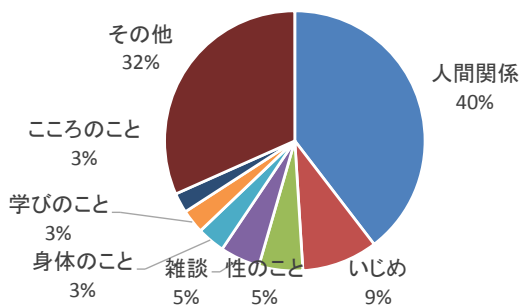
でんわだかう
はなせようネ



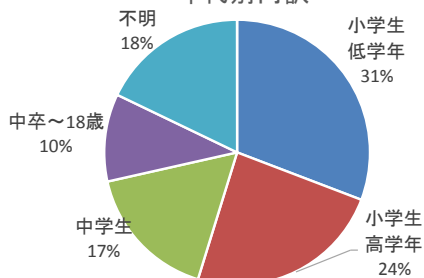
イルドラインの「受け手」は人生の先輩として、「こうすればいいんだよ」と言ってしまうようになる時もあります。でも、指示や指導をしたり、答えを出すことはしません。子どもに、自分から話す経験や、自分の話を聴いてもらう経験を通して、「自分で考えること」をして欲しいからです。

子どもは「自分で決める力」を持っています。話をするなかで、これからどうするかを子ども自身が決めていきます。あるいは、その時すぐには解決できないかもしれないけれど、話を聞いてもらっ

電話の内容



年代別内訳



2012年～2017年までのキャンペーン実績より作成

た経験があれば、さらに他の人に相談できるでしょうし、相談後に自分にできることは何かを考えられます。

話しているうちに子どもから「あの時にこうすれば違ったかもね、明日やってみようかな」とか「そっか、なんかわかってきた!」という声が返ってくる時、子どもは強いと思う瞬間です。

チャイルドラインの約束

チャイルドラインには子どもたちとの約束があります。

『せつやチャイルドライン』
 5つのやくそく
 「ヒミツはぜたい誰にも
 もらさない。」
 「名まえは
 言わなくていい。」
 「イヤだと思ったら
 切ってもいい。」
 「どんなことでも
 いしよに考える。」
 「いつでも
 かけてきていい。」
 安心してかけてくれて

「イヤだと思ったら切ってもいい」というのは、子どもが「この人とはもう話したくない」と思えば電話を切っても構わないという意味です。突然切れることもありですが、決定権は子どもにあります。

また、「こんなことを話したらいけないんじゃないか」とか「どうでもいいことかもしれないし」なんて考えて話しにくいけど、子どもの心に重くのしかかっていることがあるようです。だから、「こんなこと、なんて思わないよ」と伝えたくて、「どんなことも一緒に考える」という約束を入れています。

目の前の子どもに寄り添う

年月を経て、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わりましたが、「受け手」の子どもへの気持ちは変わりません。「受け手」は子どもへの不安な気持ちや寂しい思

いなどを、一期一会の電話のなかでどうやって受けとめていこうか、と思いを巡らせています。

「受け手」がどんな気持ちで子どもの電話を受けているのかを皆さんにも知っていただけたらと思います。下記は受け手養成のための公開講座の資料です（下記参照）。このような思いをもつて、50人ほどのボランティアが交代で子どもの電話を待っています。

「話してくれてありがと」

「子どもの話を聴く」という活動を通して、チャイルドラインは子どもにとって「ホッ」とできる「こころの居場所」のひとつになれるれば、という目標を持っています。また、チャイルドラインだけでなく、子どもの話にじっくり耳を傾けて「聴く」大人たちを地域に増やしていきたいという願いもあります。

下の文章の「受け手」という言

想像してみてください。

子どもがチャイルドラインに電話してくる、という時はどんな気持ちでしょうか。



受け手は、かけてくる子どものことを考えます。
どんな気持ちなのか想像します。
どんな思いをもっているのか、どんな希望をもっているのか。

やっとの思いでかけてきてくれたのかもしれませんが。
なかなか話し出せないかもしれません。

電話の声から、子どもが恐る恐る差し出した「手」を感じます。
その子どもの手をそっとにぎるような思いで
受け手は電話を受けています。
けてこの手は離さないよ、という思いです。

電話で受け手と話せる子どもはたったひとりです。
でも、その子を大事に思っ一生懸命に受け手が聴く中で、
その子はやっとな自分の思いを語ってくれます。

その子から視線を離さないように
受け手が話題を奪わないように
おとなの意図するように話をすすめないように
「訊きたいこと」に話をすり替えないように

受け手は子どもとの細い糸が切れないように必死で聴き続けています。
子どもとの会話を飛び越えて、
その子の向こうにある見えない「出来事の解決」に手を伸ばしたら
かけ手との細い糸が切れます。

チャイルドラインは目の前にいる子どもに寄り添い、
子どもを勇気づけ、自分から行動できるように後押しして
命を守りたいのです。

葉を「わたし」という言葉に置き換えて読んでみていただけたらと思います。子どもが「あのね…」と話し始めた時、ただ「聞く」のではなく、どんな姿勢で話を「聴く」か、そのヒントになるのではないのでしょうか。チャイルドライン以外にも、子どもの身近にいる人、つまりお友達や、お母さんお父さん、きょうだい、おじいちゃんおばあちゃん、学校の先生や近所のおじさんおばさん、こうした子どものまわりにいる人が「話を聴く人」になれば、子どもたち

休み明けのテストがやだなー
行きたくないな

学校に行っても
分がらなくなっ
無視されちゃった…。

学校を休んでるけど、
この後どうしたらいいか
わからない

子どもたちの声
(再構成しています)

がより安心して過ごすことができ
るようになるのだと思います。

もうすぐ「9月1日」

楽しい夏休みが終わる頃は、子どもの気持ちが一変して不安定になりがち
な時期です。「9月1日に子どもの
自殺が多い」という内閣府の調
査結果が2015年に報道されて
以来、社会的にも注目され、『9
月1日問題』ともいわれています。
子どもの自殺が多くなる日とし
て、子どもへの支援を行っている
団体などが注意を呼びかけている
日です。このことは多くの大人が
意識してもらいたいことです。地
域のみなさんにも、夏休みの間か
ら、まわりの子どもの変化やSO
Sに温かいまなざしをもってい
ただければと思います。

せたがやチャイルドラインでは
今年も夏休み明けのキャンペーン
を実施します。そして今年世田
谷区内の小中高校の子どもたち

へ、夏休み前にPR用のカードを
配ることにしました。夏休み明け
だけでなく夏休み中にも、せたが
やチャイルドラインは子どもたち
の声を聴き、子どもたちと話をし、
そして子どもたちと一緒に考える
ことで寄り添っていきたくと考え
ています。今回のカードは今まで
とはデザインも一新して、子ども
たちの手元に長く置いてもらえれ
ば、という願いで作成しました。

キャンペーンは9月1日(土)
から9月7日(金)の一週間、17
時から22時までフリーダイヤルを
特設します。子どもたちの不安な
気持ちをチャイルドラインに話し
てもらえたらと思っています。

子どもたちの電話を1本でも多
く受けられるよう、区民の皆様
にこのキャンペーンへのご寄付・ご
支援をどうぞよろしく願いた
します。(詳しくは14ページまた
はホームページをご覧ください)
(寄稿/せたがやチャイルドライ
ン 運営委員長 田野浩美)

■せたがやチャイルドライン夏のキャンペーン
寄付のお願い 詳細はP14をご覧ください。



家族を介護する人がほっとできる場

ケアラースカフェ
KIMAMA
き ま ま

**まちの
市民力!!**

取材・事務局

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



桜丘区民センターの近くにある
ご自宅で月1回、介護している人
がホッとくつろげる場をひらいて
いるのが岩瀬はるみさんです。お
花の香りが漂うリビングで、手作
りのシフォンケーキをいただきな
がら、介護にまつわるあれこれを
話すことができます。

「介護」はある日突然やってき
ます。介護保険の申請、在宅介護、
病院や施設選び、認知症のこと、
延命治療のこと。岩瀬さん自身も
お父さまの介護に直面したときに
何も情報がないことに気づき、施
設を何カ所も見学したり、勉強を
して知識を広げてきました。

カフェでは介護するなかでの不
安や悩みなどを世間話の延長で

ざつくばらんに話すことができま
す。運営にかかわる3人のスタッ
フはいずれも介護の経験者。介護
する人の話に耳を傾けながら、時
折、スタッフ自身の経験談を話し
ます。「介護している人にとって
は、専門家の話よりも経験者の話
のほうが共感できたり、ストンと
胸に落ちることがあるんです」

介護をきっかけに家族間のさま
ざまな問題が表面化することもあり、
「毎日の介護でたまつたスト
レスや誰にも言えない思いを吐き
出せるだけでも、気持ちが楽にな
るの。解決しなくてもただ誰かに
聞いてもらいたいのよね」といい
ます。以前から「いつか来たいと
思っていた」という初参加の方

は、抱えていた想いを語ることが
できて最後にはすっきりした笑顔
になっていました。「誰かが来て
も来なくても、いつでも『あいて
いますよ』というのが大事だと思
うんです」と岩瀬さん。

そして、ご自身の経験から「介
護は知識が大事。情報を知ってい
るのと知らないのでは大違い」と、
在宅医療に関する勉強会など、学
びの場も提供しています。社会的
にも注目され、何度もメディアに
取り上げられています。岩瀬さ
んは「趣味のケーキ作りから始
まって、だんだん地域に広がって
いっただけ。やりたいからやって
いるの」と、いたって自然体です。

誰もが気軽に集える場「きま
まスイーツカフェ（毎週火曜11時
〜17時、要申込）」と、認知症の
ご本人とその家族のための「オレ
ンジカフェ KIMAMA（第2土曜13時
半〜15時半、桜丘区民センター談
話室）」もありますので、ぜひ訪
ねてみてはいかがでしょうか。

■「ケアラースカフェ KIMAMA」(世田谷区桜丘 5-15-11)

第3木曜 13:00 ~ 16:00 (要申込) 参加費 650 円 (シフォンケーキ+飲み物)

URL <https://www.facebook.com/carerscafe.kimama/>

2018.8.1 No.172

6



写真／近藤 浩紀

「ふらっとが好きだから」

沖田 隆子さん

おきた たかこ

や せ た 人 キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●事務局

と言われて、はじめは1日限りの手伝いのつもりでしたが、気づくと高次脳機能障害の当事者のグループのボランティアとして

て、休日のバザーを手伝うようになっていきました。特製レシピの手づくりシューマイをみんなでつくって販売したり、区内各所のイベントでバザー出店をして活動を支えてきました。

沖田さんはお客さんの心をつかむのが上手です。自然と声をかけ、会話が弾むうちにお客さんが品物をお買い上げくださる、売り子の子のベテランです。「せつかくなら、たくさん売りたいものね」と笑います。バザーのために友達や近所さんに声をかけたり、品物集めの努力も欠かしません。最近は、土曜市の常連のお客さんが時々バ

ザーを手伝ってくれるようになりました。

実は、6年前に添乗員のお仕事を定年退職されてからも、ほぼ毎日ふらっとに通って、ボランティアとして活躍しています。朝7時半に家を出て、約40分かけて自転車で三軒茶屋まで通ってこられるというから驚きです。「特別なことは何もしてないよ」と謙遜しますが、到着したら昼食の準備を手伝い、午前中は車いすを押して利用者さんといっしょに外出。お昼を手早く済ませて、食器の洗い物、おやつとの配膳……と夕方まで息つく間もなさそうな一日。

でも「ふらっととはみんな明るいし、利用者さんに教えられることばかりだから楽しいよ。私にとつてのデイホームと思って来ているの」と沖田さん。「ボランティアの定年ってあるのかしら？」と冗談めかして言いますが、これからも元気に協力してくだされいね！

「どうぞ見ていって」「これ、すごく便利なのよ」ボランティアセンターの軒先で毎月第4土曜日に開催している「土曜市」のミニバザーで、朝早くから品物を並べて、お客さんに声をかけながら販売してくださる沖田さん。世田谷ボランティア協会が運営する「ケアセンターふらっと（※）」を長年にわたり、支えてくださっています。

沖田さんとふらっとの出会いとは20年以上前にさかのぼります。開設2年目から、送迎用の福祉バスの添乗員として勤め始めました。あるとき職員から「バザーをやるので、手伝ってもらえませんか？」

※「ケアセンターふらっと」…人生の半ばで、

突然の病気や事故による後遺症として障害がある方が通う施設です。

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れています。
詳細は P10～15 をご覧ください。

●小田急線沿線

- ☆ 80代女性のスポーツ教室での見守り募集 詳細 P10
- ☆ 失語症会話パートナー養成講座説明会 詳細 P11
- ☆ ①将棋②調理補助 ボランティア募集 詳細 P11
- ☆ 中3男子の下校付き添い募集 詳細 P12
- ☆ 宿泊行事同行ボランティア募集 (有償) 詳細 P12
- ☆ ボランティア拠点の臨時職員募集 詳細 P14

第4回世田谷ヒューマンライブラリー
8/26 (日) 10時～14時 (出入り自由)
会場：男女共同参画センターらびらす
東京ヒューマンライブラリー協会 P13

せたがやチャイルドライン講演会
「電話相談の現在、課題、これから」
8/18 (土) 14時～17時
世田谷ボランティアセンター P14

ホームスタート ホームビジター養成講座
9/5～10/24 毎週水曜 (全8回)
会場：玉川区民会館
ホームスタート・ナオミ P15

おたが
さMAP

OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

●京王線沿線

☆中国人生徒に日本語を教えてください方募集 詳細 P10

●世田谷線沿線

☆料理を一緒にして下さる方募集 詳細 P11

●東急線沿線

- | | |
|-------------------------|--------|
| ☆フールの付き添いボランティア募集 | 詳細 P10 |
| ☆地域デイサービスボランティア募集 | 詳細 P11 |
| ☆シニア向けのスマホ指導ボランティア募集 | 詳細 P12 |
| ☆トイレ介助ボランティア募集 | 詳細 P12 |
| ☆宿泊行事のサポートボランティア募集 (有償) | 詳細 P13 |
| ☆玉堤つどいの家・旅行のお手伝い (有償) | 詳細 P13 |

災害ボランティア
コーディネーター
9/15 (土) 13時半
国士館大学
せたがや災害ボランティア

- 京 京王線沿線
- 小 小田急線沿線
- 世 世田谷線沿線
- 東 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにお
としたり、今月のあなたの『おたがいさ』を書き入れてみてはいかがでしょうか。
★や◎で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご活用ください。

ご相談ください

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障がいや学習障がいの傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小・中学生の個別の学習支援に取り組む、ボランティアの紹介を行っています。

ボランティア求む

東 プールの付き添いボランティア募集

小学校の普通学級に通っている4年生の女の子が、学校のプールで付き添ってくれる女性を探しています。知的障がいがあり、着替えの手伝いとプール内での付き添いが必要です。プールが大好きな明るい女の子です。一緒にプールを楽しんでくれる方、お待ちしています。詳細はお問合せください。

勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。必要な方がいらしたら、お気軽にご相談ください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木・青木
TEL 5712・51001
suzuk@otagaisama.or.jp

●日時/9月6日、13日いずれも水曜、8時半～10時半
●場所/玉川地域の小学校
●募集人数/1～2名
●条件/交通費支給。ボランティア保険加入費用支給。女性限定
●問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tamabora@otagaisama.or.jp

世 定時制に通う中国人生徒に日本語を教えてくださる方

中国人の女子生徒が、都立松原高校の定時制にこの春から通っています。今年2月から日本に来て、日本の文化にも関心を持ちながら、一生懸命勉強をしています。日常会話や授業の内容の理解に困っていて、日本語での日常会話の習得、授業での中国語でのフォロイが必要です。

①平日の授業の前に日本語の日常会話を教えてくださる方、②定時制の授業での中国語でのフォロイをしてくださる方を探しています。

小 80代女性のスポーツ教室での見守り募集

梅丘にあるスポーツ施設の利用時の見守りをして下さる方を求めています。女性はこの施設に長い間通っていて、通うことが習慣になつており、身体を動かして筋力を鍛えることをずっと続けたいと希望しています。歩行に不安はありませんが、認知症のため発言に事実と違うことが混ざる可能性があります。認知症にある程度理解があり、発言に対して否定せずに

対応していただける方を希望します。

●日時/週一回から2回(35分)
●場所/梅ヶ丘駅周辺
●募集人数/1～2名
●条件/女性希望。交通費応相談
●問合せ/梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420・2520
umebora@otagaisama.or.jp

若年性認知症当事者をサポートして下さる方募集

世田谷でも参加している「若年性認知症家族会・彩星の会」9月定例会の際、当事者サポーターを募集しています。若年性認知症の当事者と話し合い、ゲーム、ティールーム等と一緒にサポートして下さる方、ご連絡をお待ちしています。

●日時／9月30日(日) 11時～16時
●場所／新宿区障害福祉センター
●交通／都営大江戸線「若松河田駅」徒歩8分
●問合せ／世田谷ボランティア協会 ケア相談センター 結田 和田
TEL 5433・2830

世 料理を一緒にして下さる方募集

世田谷地域にお住いの60代の女性が、料理を教えてください方を求めています。ご自身で家事をやってきた経験がなく、一緒に料理をしながらやり方を教えてください方を求めています。詳しくはお問い合わせください。

●日時／火水木土日の午後で相談
●場所／自宅
●交通／世田谷線上町駅徒歩5分
●募集人数／1名
●条件／50代～70代の女性
●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 青木
TEL 5712・5101

東 地域デイサービス ボランティア募集

世田谷区住民主体型地域デイサービスを、今年9月にオープンします。趣味・特技を活かして楽しくボランティアしませんか？ 経験・年齢不問です。

●日時／毎週日曜日 9時45分～13時15分(毎週でなくても、月に数回の参加でも助かります)
●場所／有料老人ホームチャームフレミア深沢(深沢7・4・1)
●交通／桜新町駅徒歩14分
●問合せ／特定非営利活動法人日本ハワイアンリトリミックス協会 担当 鈴木
TEL 5430・8022
info@hawaiian.com

小世 失語症会話パートナー養成講座 説明会

「失語症会話パートナー」とは、失語症の方がスムーズにコミュニケーションがとれるように支援する人のことをいいます。講座をとおりてコミュニケーションをとる方法を学び、失語症の方へのサポーターになります。養成講座の申し込み受付は説明会にて行います。まずは説明会にぜひお越しください。

●日時／9月19日(水) 13時30分～16時
●場所／総合福祉センター
●交通／梅ヶ丘駅・豪徳寺駅・山手駅駅徒歩7分
●対象／区内在住で、講座全4回(10月3日、17日、31日、12月5日、13時30分～16時)の全日程に参加でき、修了後にボランティア活動ができる方
●申込み／電話で申込み
●問合せ／総合福祉センター 成人担当 金井
TEL 5376・3414

小 ①将棋ボランティア、②調理補助ボランティア募集

デイホーム赤堤では、私たちと一緒にご利用者様の活動を手伝って下さるボランティアを募集しています。

①趣味や特技(特に将棋、書道、麻雀、陶芸など)を生かして教えて下さる方、掃除やお茶出しなど裏方として支えて下さる方、②調理補助ボランティアも大募集です。

●日時／日曜日を除く、月曜～土曜でご相談。②調理補助は8時半～14時
●場所／デイホーム赤堤
●交通／経堂駅徒歩8分
●条件／②のみ交通費程度支給
●問合せ／デイホーム赤堤 担当 樋口・野島
TEL 3325・1850
aei04252@nifty.com
http://fukunotomow.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。9月号掲載は8月10日(金)に締め切ります。

小

中3男子の下校付き添いしてくださる方募集

中学校3年生男子の車椅子での下校の付き添いをして下さる方を募集しています。梅丘駅近くの特別支援学校に迎えに来ていただき、バスに乗って、駒沢公園近くの児童デイサービスまでの付き添いをお願いします。児童デイサービスに行くことが好きな笑顔の素敵な男の子です。

車椅子での移動やバス等に関し、サポートをお願いします。子どもが好きて理解があるボランティアを募集しています。

問合せ／梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420・2520
unborara@otagaissana.or.jp

東 シニア向けのスマホ指導ボランティア募集

シニアのためのパソコン教室を開設して15年のボランティアグループです。まったく初心者の方にも、繰り返しやすいスマホの使い方を指導して下さる方を募集しています。スマホはアンドロイドでもアイフォンどちらからでもいいです。

●日時／火曜日、金曜日 15時～17時（14時半集合）

エリアを募集しています。

●日時／月曜または水曜、午後15時40分頃（45分間程度）頻度（毎週、隔週など）はご相談。

●場所／梅ヶ丘駅近辺

●条件／車椅子を押せる方。性別不問。交通費（バス代）は負担します

●問合せ／梅丘ボランティアビューロー
TEL 3420・2520
unborara@otagaissana.or.jp

●場所／キャロットタワー3階市民活動支援コーナー等

●交通／三軒茶屋駅

●募集人数／1～2名

●条件／スマホを教えるのが好きな50～70代の方、世田谷区在住の方。交通費程度支給

●問合せ／世田谷なかなよしパソコン090・5304・6151
zyymot@gmail.com

東

トイレ介助ボランティア募集

二子玉川にある会社に勤務する車イスの20代男性が、昼休みのトイレ介助（パッド交換）のボランティアを探しています。複数でサポートしていますが、火曜を担当していただける方を求めています。介助経験のない方も、まずはお問い合わせください。

●日時／火曜 12時40分～13時
●場所／二子玉川駅徒歩2分
●募集人数／1～2人
●条件／年齢・性別・資格不問。交通費応相談
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・35208
tamabara@otagaissana.or.jp

有償スタッフ募集

宿泊行事同行ボランティア募集

小

「東北沢つどいの家」は、車椅子使用の肢体不自由の方が通所しています。大型リフト付きバスを使用している宿泊行事に、利用者さんと一緒に同行して下さるボランティアさんを募集しております。障害を持った方とどう接したらよいのだろうか…と感じる方も多いと思いますが、利用者さんは、TVも観るしお喋りも大好き、サッカーも野球も好き…と色々お話しできる方がいらつやいます。ボランティアさんと出会うことをとても楽しみにしていますの

で、ぜひ一度覗いてみませんか？
●日時／9月4日（火）～6日（木）
●旅行先／埼玉県飯能方面
●集合・解散は東北沢つどいの家
●募集人数／男性1名、女性3名
●条件／事前オリエンテーション（日時応相談）に参加でき、2泊3日同行できる方、年齢不問。車椅子での移動・入浴等の介助があるので元気に動ける方希望。宿泊代・食事代は施設で負担致します。謝礼あり。
●問合せ／東北沢つどいの家
TEL 3465・1832

東

宿泊行事のサポートボランティア募集

障害者が通所している施設での宿泊行事です。障害者研修保養センター・横浜あゆみ荘に1泊します。車椅子の移乗介助やレクリエーションなど、利用者と楽しい時間を過ごしてくださる方を大募集しています。障害者のボランティアが未経験の方も大歓迎です。素敵な思い出を一緒に作りましょう！1日だけの参加も可能なのでお気軽にお問い合わせください。お待ちしております！

東

玉堤つといの家・旅行のお手伝い

車椅子を利用されている身体障害者施設「玉堤つといの家」では、10月25日～26日の一泊二日で、宿泊旅行を計画しています。その旅行に同行してくださる方を募集しています。車椅子を利用されている方々の移動・食事のお手伝い、入浴の際のサポートをお手伝い願えばと思います。

- 日時／①8月29日(水)～30日(木) ②9月5日(水)～6日(木) 1日目は10時集合、19時解散(宿泊の必要はありません)。2日目は8時現地集合、14時解散 ※特に、1日目に協力いただける方を募集しています。
- 募集人数／3～4名
- 条件／高校生以上の方。謝礼あり
- 問合せ／世田谷区立三宿つくしんぼホーム 担当 久松
- TEL 3411・4711
- 日時／10月25日(木)9時集合、26日(金)16時半解散
- 旅行先／茨城県大洗
- 交通／大型リフト付き観光バス
- 募集人数／4～5名
- 条件／旅行手当(6000円×2日)を支給。行事保険および旅行中の宿泊費・交通費・入場料等、全て当事業所にて負担いたします。(年齢・性別不問)
- 問合せ／NPO法人つとい
- 玉堤つといの家 担当 小倉
- TEL 5706・6951
- ogura@tsudoinie.jp

講座・その他・募集

東

遊ぼう会とグルンパの夏まつり

毎年恒例のイベント、障がいがあってもなくても一緒に楽しく過ごす夏まつりです。焼きそば、かき氷、サンドイッチなど、「ナツボラ・ジュニア」の小学生ががんばって店長をやります。お友だちをさそってぜひ来てください。大学生のお兄さん、お姉さんも待っています！

- 日時／8月25日(土)11時～14時
- 場所／玉川ボランティアビュロー(二子玉川駅徒歩5分)
- 参加費／こども100円、おとな300円
- 申込み／電話・FAX・メール 申込み締切／8月17日(金)
- 問合せ／玉川ボランティアビュロー
- TEL 3707・3528
- tanabara@otagaisama.or.jp

東

第4回世田谷ヒューマンライブラリー

各種障害者・LGBT・依存症・難病・ホームレス・イスラム教徒、ユニークな活動をしている区民の方など、日ごろ接することが難しい人の話を少数の対話空間で30分間だけ聞く機会を貸し出すイベント「人間図書館」です。デンマークで始まり、世界90カ国以上で開催されていて、世田谷区でも10回以上開催されています。

- 日時／8月26日(日)10時受付開始、14時30分受付終了(参加無料・事前予約不要・途中出入り自由)
- 場所／世田谷区立男女共同参画センターらぶらす
- 交通／三軒茶屋駅徒歩7分
- 問合せ／東京ヒューマンライブラリー協会 担当 坪井
- 090・4751・6942
- tsubo912@gmail.com

講座・その他・募集

小 ボランティア拠点の臨時職員募集

世田谷ボランティア協会が運営する、地域のボランティア拠点で有給スタッフを募集しています。

- 内容／ボランティア活動の推進にかかわる相談業務、諸事業の企画・実施、一般事務、施設の管理、バザーの企画・運営ほか
- 勤務地／代田ボランティアビュロー（代田2・20・6）
- 交通／世田谷代田駅徒歩1分
- 勤務日／月曜～土曜日のうち、週3日程度（ただし、月1～2回土曜日の交代勤務あり）
- 勤務時間／9時55分～17時10分
- 条件／20歳以上で人とかわかることが好き、地域のために何か始めてみたい方

東 NPO・市民活動相談にご活用ください

ボランティアグループ・任意団体の立ち上げや運営に関する相談のほか、NPO法人の設立も含めたNPO・市民活動に関する基礎的な個別相談に応じています。すでに活動している方も、これから何か始めたい方も、個人、団

- 雇用期間／8月以降～2018年3月末日（勤務開始日応相談。年度ごとの契約、更新あり）
- 待遇／時給1010円（交通実費支給、雇用保険あり）
- 応募方法／履歴書（写真貼付）、作文「応募の動機」（4000字程度）を郵送または持参
- 選考方法／書類及び面接
- 応募締切／適任者が見つかり次第締切
- 問合せ／世田谷ボランティア協会（月曜・祝日休館、8月14日～16日夏季休館）

TEL 5712・5101
世田谷区下馬2・20・14
TEL 5712・5101

体問わず相談可能です。まずは電話でお問い合わせください。

（相談無料。事前予約制）
● 問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 宮崎
TEL 5712・5101

東 チャイルドライン20周年記念講演会
「電話の相談の現在、課題、これから」

日本電話相談学会理事長で九州情報大学教授の林幹男さんをお迎えして、「電話相談の現在、課題、これから」と題し、講演会を開催します。

勉強会の中で読んできた電話相談に関する本『心の危機と向き合う』の執筆者の一人が林先生だったことから、「ぜひこの方のお話を直接聞いてみたい」という思いで実現した講演会。東京で話を聞けるめったにない機会です。電話相談活動に関わっている方、関心のある方のご参加をお待ちしています。

フリーダイヤルキャンペーンご寄付のお願い

せたがやチャイルドラインでは2012年から、子どもたちがいじめなどの悩みを抱えやすい夏休み明けにフリーダイヤルキャンペーンを実施してきました。今年も9月1日～7日の一週間、キャンペーンを実施します。

子どもからの電話に応えるのは、研修を受けたボランティアですが、子どもへの広報やフリーダイヤルの増設には費用がかかり、みなさんのご寄付が大きな支えとなります。

ちしています。

- 日時／8月18日（土）14時～17時
- 場所／世田谷ボランティアセンター
- 交通／三軒茶屋駅徒歩12分
- 参加費／1000円
- 申込み／メールまたは電話（Xのの場合、件名を「講演会申込み」とし名前・連絡先・あれば所属を明記ください）
- 問合せ／せたがやチャイルドライン事務局

す。子どもが安心して生きられる地域づくりを目指して、ご支援をよろしく願っています。

● 寄付振込先 郵便振替
00150・8・279963
加入者名「社会福祉法人世田谷ボランティア協会」
101000円から

● 問合せ せたがやチャイルドライン事務局
TEL 5712・5101

世小 災害ボランティア マッチングコーディネーター 養成講座

災害時に被災者と災害ボランティアのニーズをつなぎ、より良く支援活動が行われるように調整するスタッフを「災害ボランティアマッチングコーディネーター」といいます。その養成講座を開催いたします。大勢の方の受講をお待ちしております。講座受講後、「マッチングコーディネーター」への登録もお願ひします（希望者のみ）。

●日時／9月15日（土）13時半～16時半
●会場／国士舘大学

東 ホームスタート ホームビジター 養成講座

あなたの子育て経験をホームビジター（ボランティア）で活かしてみませんか？「ホームスタート」とは、小さなお子さんがいる家庭を訪問し、お母さんと一緒に話をしながら、家事や育児をするボランティア活動です。初めての方でも安心して活動するために、ホームビジター養成講座を実施します。ボランティアをするためには、この講座の受講が必須になっています。子育て支援に興味がある方のご参加をお待ちしています。

- 交通／梅ヶ丘駅徒歩9分
- 参加費／無料（要申込）
- 申込み／お電話かメールでお申込みください。メールの場合件名を「災害VMC講座申込み」として、氏名・住所・電話番号（あれば所属）をご記入ください。
- 主催／世田谷ボランティア協会 世田谷区
- 問合せ／せたがや災害ボランティアセンター
TEL 5712・5101
saiga@otagaisama.or.jp

- 日時／9月5日～10月24日まで 毎週水曜日（10月10日を除く） 最終日は調整中です（全8回）
- 場所／玉川区民会館
- 交通／二子玉川駅徒歩8分
- 募集人数／15名
- 条件／子育て経験がある方、講座修了後ボランティア活動したい方
- 問合せ／ホームスタート・ナオミ 担当 藁田
080・9429・0493
hsjnaomi@naominokai.or.jp

元氣シニア応援団体に対する助成活動

本活動は、地域社会において、高齢者を対象にした健康管理・増進、自立支援、生きがいづくりなどの活動に取り組んでいる民間非営利の団体等に対し、資金の助成を行うことで、高齢者が健やかで心豊かに生活できる地域社会の環境整備に寄与し、地域福祉の一層の推進を図るものです。

- 助成対象団体／高齢者を対象にした健康管理・増進、自立支援、生きがいづくり等の活動を行っている民間非営利の団体、ボランティアグループ、特定非営利活動法人（NPO法人）等で、所定の要件（申請時点で1年以上の活動実績を有し継続して運営している）等を満たす団体
- 助成対象活動／構成員だけでなく、地域の高齢者を対象とした健康管理・増進、自立支援、生きがいづくり等の活動（従来からの継続活動でも新規活動でも構いません）
- 助成金額／1団体あたり上限額12万円（助成総額最大500万円）
- 助成対象の活動期間／2019年4月～2020年3月末

- 提出書類／所定の「助成申請書」に必要事項を記入、正本とコピーを必須添付書類とともに、必ず郵便（簡易書留）で送付。
- ※募集要項や助成申請書等、詳細はホームページに記載しております。ダウンロードできない場合は、連絡先を明記のうえ、FAX（またはハガキ）でご請求ください。
- 申込締切／8月17日（金）当日消印有効
- 選考・発表／当会の選考審査会で選考し、選考結果を全ての申請団体に直接書面にてお知らせします。助成決定団体名等は、当会ホームページ等で公表します。（2019年2月上旬予定）
- 問合せ／一般社団法人生命保険協会「元氣シニア応援活動」事務局
TEL 3286・2643
FAX 3286・2730
<http://www.seiho.or.jp/t100-0005>
千代田区丸の内3・4・1
新国際ビル3階

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 世田谷地域障害者相談支援センター 〒154-0002 下馬3-22-13 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

夏のボランティア体験プログラム、区内各所で学生たちが初めてのボランティアに挑戦しています。
夏休み中のボランティア相談はお早めにどうぞ。8月4日～5日、区民まつりにもお立ち寄りください。

◆ふらっと&withより

今年は、ひと月早く季節が訪れる傾向です。桜の時期、梅雨明け、そして真夏日。例年よりもひと月長くなりそうな夏、体調に気をつけながら過ごしたいと思います。8/25(土) ふらっと夏祭り「エテマルシェ」にもぜひお越しください。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

いのちの電話などにもかかわってこられた林幹男さんを九州からお招きして、8/18(土)に講演会を開きます(P14参照)。電話相談にかかわる方、子どもに関わる方とともに、「これから」をいっしょに考えていきたいと思います。

編集後記

■全国各地で相次ぐ異常気象。7月の西日本豪雨により亡くなられた方のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。せたがや災害ボランティアセンターでは、「被災者支援ボランティア活動募金」を募り、災害ボランティアの派遣を計画しています。

■「ケアラズカフェ KIMAMA」スタッフのMさんが傾聴ボランティア養成講座の修了生と知り、地域でのご活躍をうれしく思いました。(み)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

